学生によるラジオ番組オンエア

7月15日午後3時から、コミュニティーFM放送「京都三条ラジオカフェ」（7.97MHz）で、現代社会研究ゼミ（担当：長谷邦彦教授）でメディア論を学ぶ学生が制作したラジオ番組が放送された。3年次生16人が担当教員の全員が出演するこの番組、タイトルは「街に生活する京都大学外生生活京子の休日」。外生京子の休日の一日について語るスタイルで、大学生の休日の過ごし方を考えるという内容になっている。河原町での留学生との出会いを通して見つけた新たな発見や、京都に関するクイズ・大学生の休日の過ごし方をテーマにした座談会が盛り込まれるなどバラエティーに富んだ構成で、「休日は街に出よう」と呼びかける。

この放送に先駆けて7月14日3時から、146教室において聴講会が行われた。長谷教授から学生へ、ラジオ番組制作するに当たっての心掛けや、メディアで情報を発信する場合の注意点などが再度確認された後、公開放映が始まった。自分たちの声が入った番組に、どこまでもロールが聞けられる和やかな雰囲気で、参加者はみんな作品に聞き入っていた。放映が始まるとき、自然に笑いが起こり、ほっとした表情があちこちに見られた。引き続き行われた座談会で、出演した学生は「スタジオ収録を終えて拍手が起こった瞬間、すごくうれしかった。録音の緊張感にワクワクし、やみつきになりそう」「顔が見えない分、声のトーンで気持ちが伝わるよう工夫をした」と努力を積み重ね、全員で協力して番組を作り上げた素晴らしいを語った。

キャリアアップ講座開かれる

昨今の企業の採用基準は「量より質」いった少数派採用の考えが浸透している。そこで、学生に社会のニーズに対応できるスキルを磨いてもらうために、「キャリアアップ講座」が開講され、専門の業界はもちろん、それ以外の幅広い業種でも必要とされるマナー、スキルアップ策などについて説明された。

■プライドライヤ業界就職対策講座

人気の高いプライドライヤ業界。学生が抱えるイメージと現実とのギャップを埋め、実像をつかむために本講座が開講された。プライドライヤ業界の代表的な職種であるブランドナーについての知識を深め、就職のための心構えを具体的に説明された。「結婚という人生の選択舞台を満足できるものにしてもらうために、一組一組じっくり向き合う。お客様のタイプによって提案の方法を変えてみることが大切」と、気配りの重要性が示され、参加した9名の学生は熱心に聞き入れていた。ブランドナーの他にもシェフ、花屋、ヘアメイク、司会、音響、照明、式場でのサービススタッフなどの多くの業界が関わって成り立つ業界であり、どの職種でもお客様とコミュニケーションが取れる人材が求められている。

■マスコミ就職ペーシック講座

本講座では、マスコミ業界に興味をもつ就職を目指す学生を対象に、業界研究や業務内容の説明、内定を得るために今からすべきことなどが指導された。新聞社・広告代理店・放送局・出版社など志望する学生が集まる中、最終日にはマスコミ業界への就職を決めた内定者が自身の就職活動について話した。「就職活動をマスコミ業界だけに絞るのはなく、他の業界にも目を向けすることが大切。多くの業界において知ることができるほど大変貴重な経験であり、知識が増え、実際にマスコミの試験を受ける際に役立つこともある」と、自らの体験を基にアドバイスをした。参加した学生からの「マスコミ業界から内定を受けた人に何であろうか多いですか？」との質問に、「マニックとも言えるほど、熱心に何かひとつ物事に取り組める人が目立った」と回答。自分が好きなことを追求して自己アピールに努めてほしいと、参加した20名の学生にエールを送った。

■エアライン業界就職対策入門講座

航空業界に興味がある学生を対象に実施された本講座。30名の学生が職務知識やマナー、業界の現状などについて学んだ。「面接官は、一日に多くの学生を面接をする。その中でもう一度会いたいと思ってもらえるようアピールすることが大事」と、自己PRや希望業種を発表する面接試験対策が重要なと行われた。「チケット化が進む現在の航空業界は、お客様との対面が少ない。そこで直接お客様と接することのできる客室乗務員のクライアントスとは、その航空業界の第一印象を決めるということが重要だ」と、実際に働く上での心構えが示された。